



地域日本語支援ニュース こだま 第 238 号

2013.7.25



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

=====

1■日本語教育メール相談から－25■

ゼロレベルの学習者のニーズに合わせた教え方と教材

2■進学進路ガイダンス情報■

高校進学説明会情報(10 月)

3■AJALT からのおしらせ■

E ラーニング教材

「仕事を探そう－履歴書の書き方から面接まで」HP にて公開

=====

1■日本語教育メール相談から－25■

ゼロレベルの学習者のニーズに合わせた教え方と教材

-----  
AJALT では、各地域において在住外国人にたいする日本語支援を行っている方々からの日本語支援に関するご相談をメールで受け付けています。教室運営や対象別指導法、日本語文法など、皆様の日々の活動における疑問に、AJALT のベテラン教師が丁寧にお答えいたします。今回は、最近頂いたご相談の中から、下記のご相談と回答をご紹介します。皆様もどうぞ、お気軽にメール相談をご利用下さい。  
☆☆☆☆☆☆☆☆

<ご相談内容>

私は以前日本で半年、中国で 2 年足らず日本語教師をしていました。2 年前

に帰国し、現在はボランティアで教えています。

中国人学習者に積み上げ式のテキストを使って、1回1時間、週3回を3人のローテーションで進めています。既習語彙表現を使った手作り会話文を作ったり、微妙な表現などは適宜中国語で説明もしますが、結構時間がかかります。社会人として一日も早く日本の生活に馴染み、出来れば仕事にも就きたいという学習者が、なるべく効率的に実践力を身につけるにはどういう教え方がいいのか、試行錯誤の日々です。教え方と教材、教える際のヒントや、気をつけるべき点、教材を手作りするうえでの注意点などがあれば教えてください。

<回答>

ご相談のメール、ありがとうございます。以下、思いつくことを書いてみました。少しでもご参考になれば幸いです。

◆ゼロレベルの学習者のニーズに合わせた教え方と教材について◆

1) 学習者に最適のテキスト

学習者が日常生活で自分に必要なこと、自分に関心があること、人に話したいことが、表現できるようになることが最も大切なことだと思いますので、お使いの文法積み上げ式のテキストのトピックや既習文型に関連させて、例えば以下のテキストを部分的に使ってみるのも効果があるのではないかと思います。

『NEJ:A New Approach to Elementary Japanese <vol.1><vol.2>

テーマで学ぶ基礎日本語』くろしお出版

自己／家族紹介、したいこと、仕事などについて、モノローグ（スピーチ形式）と会話形式で、初級レベルで意味がある、まとまったことを何人かが話すモデルが紹介されているので、それを参考にして（あるいは真似て）話す練習をすることができます。中国語版あり。

『にほんごこれだけ！1』『にほんごこれだけ！2』ココ出版

2から4往復の会話で、自分について、相手について、いろいろ楽しい会話が展開でき、日本語を使う楽しみを味わえ、人間関係を築いていくことができます。

『できる日本語初級』『できる日本語初中級』アルク

各課の場面の絵を見ながら、既習文型を使って実際に使う会話を表現する練習ができます。また、各課に一つまとまったモノローグが載っているので、それを参考に自分のことを話す練習ができます。

このような教材を利用すると、初級でもある程度内容のある、まとまったことを話す練習がしやすいので、学習者も達成感が得られ、自信もつき、学習を継続していく意欲にも繋がるのではないかと思います。

## 2) 教える際のヒント／気をつけるべき点

理解だけでなく、コミュニケーションがとれるようになることが目標なので、学習者が頭でわかっていることでも、口からすらすら出て来ないようでは実際の場面では使えません。質問に対してスラスラ答えられるようになるまで楽しく練習する必要があります。

学習時間は限られています。授業時間は学習者の発話量を教師の発話量より多くすることが求められます。理解しやすい導入や手際よく練習できるように準備することが大切です。

## 3) 教材を手作りする上での注意点

市販のタスクや教材が驚くほど充実してきています（初級は特に）。そのせっかくの先行研究を生かさない手はありません。ざっと目を通して、ご自分のアイデアに加えてそれらを参考になさると、ご自分の学習者の実情に合った、よりよいものが作成できるし、自分の作成技術も上がると思います。

これからも是非日本語相談をご活用ください。ますますのご活躍をお祈りしております。

(AJALT 所属日本語教師 松岡浩彦)

---